

資料

用 語 解 説

ア行

ICT

Information and Communications Technology（情報通信技術）の略。

アスベスト

天然に産する鉱物である石綿（せきめん、いしわた）のこと。建築資材として様々な形で使用されてきたが、繊維の吸入による健康被害が判明したことから、現在では原則として製造及び使用が禁止されている。

アビリンピック

全国障害者技能競技大会の愛称（「アビリティ」（Ability＝能力）と「オリンピック」（Olympics）を合わせた言葉）。

インキュベーション・マネージャー

これから事業をはじめようとする人や経験の少ない起業家へ、事業の知識やノウハウ、経営資源などに関しアドバイスをを行うなど、事業の実現に向けて支援をする人。

ウェブアクセシビリティ

高齢者や障害者といった、ホームページ等の利用になんらかの制約があったり、利用に不慣れな人々を含めて、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できること。

WEB会議

離れた場所にいる人同士が資料やデータを共有し、音声や動画をリアルタイムに交換して会議を開くことができるもの。

ALT

Assistant Language Teacher の略。中学校や高校の外国語指導助手。

SNS

Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の略。インターネット上で友人を紹介しあって、個人間の交流を支援するサービスのこと。

エコライフ

地球環境に負荷の少ない生活スタイルのこと。

NPO

Non-Profit Organization（非営利組織）の略。営利を目的としない公益的な市民活動などを行う民間の組織、団体のこと。

オープンデータ

地方公共団体等が保有する公共データを、市民や企業等が利活用しやすいように機械判読に適した形式で、二次利用可能なルールの下で公開すること。

カ行

環境管理事業所

鹿児島市環境保全条例に基づいて適正に環境管理を行い、環境への負荷の少ない事業活動を自主的に行っている事業所。

コミュニティサイクル

複数のサイクルポート（自転車貸出拠点）を配置し、どのサイクルポートでも自転車の貸出・返却ができるシステムのこと。

環境対応車

二酸化炭素（CO₂）や排出ガスを大幅に削減するエンジンや動力源を持つ自動車などのこと。具体的には、ハイブリッド自動車、電気自動車、天然ガス自動車などの次世代自動車や、低燃費かつ低排出ガス認定車がある。

雇用のミスマッチ

業種・職種、年齢、技能、労働条件（賃金、労働時間等）などにおいて、求人と求職のニーズが一致しないこと。または、ニーズが一致しない状態で働いていること。

サ行

GIS

Geographical Information System（地理情報システム）の略。位置に関する情報を持ったデータを総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術のこと。

ジオパーク

貴重な地形・地質を保存・活用して観光、教育、防災、地域振興などに役立てる自然公園のこと。

CCRC

CCRCは Continuing Care Retirement Community の略で、東京圏をはじめとする地域の高齢者が、希望に応じ地方やまちなかに移り住み、多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくりを目指すもの。

重要業績評価指標（K P I）

Key Performance Indicator の略。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標のこと。

新地方公会計制度

国が示した、固定資産台帳の整備と複式簿記の導入を前提とした統一的な基準に基づく財務書類等の整備のこと。

スクランブル交差点

歩車分離式交差点のうち、歩行者横断時に斜め横断ができる交差点のこと。

ストックマネジメント

既存の建築物（ストック）を有効に活用し、長寿命化等を図る体系的な手法のこと。

スクールガード

子どもの安全を確保し安心して学習できる環境を守るため、各学校区に組織された学校安全にたずさわるボランティアの方々のこと。

スクールガード・リーダー

各学校を巡回し、学校安全体制の指導や評価を行う、市から委嘱された警察OBや防犯の専門家等の方々のこと。

スクールソーシャルワーカー

様々な問題を抱えた児童生徒に対し、子どもを取り巻く環境に働きかけ、課題解決を図る社会福祉等の専門的な知識・技能を有する者。

3 R

ごみの減量化・資源化のキーワードで、Reduce(リデュース：発生抑制)、Reuse(リユース：再使用)、Recycle(リサイクル：再生利用)の3つの頭文字をとったもの。

セーフコミュニティ

「事故やけがは原因を調べ対策を行うことにより、予防できる」との考えのもと、さまざまな統計データやアンケートなどの分析結果に基づき、地域住民、行政、関係団体などが協働して事故やけがを予防する取組のこと。または、その取組を進めているコミュニティ。

生物多様性

すべての生物の間に違いがあることで、「生態系の多様性」、「種の多様性」、「遺伝子の多様性」の3つのレベルでの多様性がある。

ソーシャルビジネス

少子高齢化、環境、貧困問題などの社会的課題を、ビジネスを通じて解決しようとする活動。

タ行

ダンボールコンポスト

ダンボール箱を利用して生ごみを処理する容器のこと。

地域コミュニティ

日常生活を支え合う身近な地域社会のこと。

地域包括ケア

地域の高齢者に対し、介護・医療サービスのほか見守りなどのさまざまな生活支援を、包括的、継続的に提供すること。

地区計画

比較的小さい地区を単位として、それぞれの特性に応じたきめ細かなまちづくりを行うための計画で、道路、公園などの配置や規模、建築物の建て方のルールなどについて、住民等の意見を反映して定めるもの。

テナントミックス

商店街内の業種構成の見直しや不足業種などの再配置を行うこと。

都市型農業

市街地と調和を保ちながら、農地の集約的・効率的な利用を行い、地域の特性を生かした農畜産物を生産し、安全安心かつ新鮮で良質な農畜産物を供給するとともに、防災や緑地保全などの農業の持つ公益的機能の点から都市と農業の共存を図ろうとする農業。

都市機能

店舗、病院、銀行などの生活利便施設や、道路、公園、学校などの公共公益施設。

DV（ドメスティック・バイオレンス）

配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力のこと。

ナ行

認定農業者

農業経営基盤強化促進法に基づき、農業者自らが作成した農業経営改善計画の認定を受け、経営感覚に優れた農業経営体を目指している農業者。

農業の6次産業化

農業者が、農産物の生産（1次産業）だけでなく、食品加工（2次産業）、流通・販売等（3次産業）に主体的かつ総合的に関わることで、高付加価値化を図るもの。

ノーマライゼーション

障害者と健常者とは、お互いが特別に区別されることなく、社会生活をともにするのが正常なことであり、本来の望ましい姿であるとする考え方。

ハ行

バイオガス

再生可能エネルギーの一つで、有機性廃棄物（生ごみ等）や家畜の糞尿などを発酵させて得られる可燃性ガス（主成分はメタン・二酸化炭素）のこと。

パブリックコメント手続

行政機関が施策を実施するにあたって、その趣旨、内容、その他必要な事項を公表し、それに対して出された意見や情報を検討して最終的な意思決定に向けて行う手続きのこと。

ファミリー・サポート・センター

育児や家事の援助を依頼する依頼会員、援助を行う提供会員及びどちらも可能な両方会員で組織され、会員相互による育児の相互援助活動を実施するもの。

プライマリーバランス

借金（市債）を除いた歳入と返済（元金）を除いた歳出を比較したもので、歳入のほうが多くなれば黒字となり、財政が健全であることを示す。

ポータルサイト

関連する分野別に情報が整理され、リンク先が表示されているウェブサイト。

ホーム・エネルギー・マネジメント・システム（HEMS）

空調・照明等の電力使用量等を個別に計測し、調整する制御機能と、電力使用量等の「見える化」の機能を有するシステムのこと。

マ行

マッチング

あるニーズを持った二つ以上のものを結びつけること。需要側と供給側の調整を行い、取引の仲介をすること。

メガソーラー

1メガワット（1,000キロワット）以上の発電出力を持つ大規模な太陽光発電施設のこと。

木質バイオマス

再生可能な生物由来の有機性資源（化石燃料を除く）のうち、木材に由来するもの。主に、樹木の伐採や造材のときに発生した枝、葉などの林地残材、製材工場などから発生する樹皮やのこ屑などのほか、住宅の解体材や街路樹の剪定枝などの種類がある。

モビリティ・マネジメント

公共交通の便利な利用方法や環境面・健康面でのメリットなどの情報を提供することにより、一人ひとりのモビリティ（移動）が望ましい方向へ自発的に変化することを促すコミュニケーションを中心とした交通政策のこと。

ヤ行

UPZ

Urgent Protective Action Planning Zone（緊急時防護措置準備区域）の略。原子力施設からおおむね半径5～30 kmの範囲で防災対策を重点的に行う区域のこと。

ラ行

ライフサイクルコスト

施設における初期建設費用とその後の維持管理更新費用等を含めた生涯費用の総計（トータルコスト）のこと。

連携中枢都市圏

連携中枢都市（①地方圏の指定都市、中核市であること、②昼夜間人口比率が概ね1以上であることの2つの要件を満たす都市）となる圏域の中心都市と経済、社会、文化または住民生活等において密接な関係を有する近隣の市町村が連携協約を締結することにより形成され都市圏のこと。

ワ行

ワーク・ライフ・バランス

「仕事と生活の調和」。国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。

第五次鹿児島市総合計画 第3期実施計画

(平成28年度～平成30年度)

平成28年5月

発行・編集 鹿児島市（企画財政局企画部政策推進課）
〒892-8677
鹿児島市山下町11番1号

Eメール seisaku-s@city.kagoshima.lg.jp

URL <http://www.city.kagoshima.lg.jp>

印刷

